

バーチャル同居による暮らしの安全と生きがいの創出

提案者名	長谷川遼, 岡本英二	連絡先	okamoto@nitech.ac.jp
------	------------	-----	----------------------

解決する課題

共働き家庭の家庭における負担
過疎地における高齢者の生きがいが少ない

本提案の概要

視覚・触覚・聴覚を伝える技術とロボットにより以下の内容を行い、次の効果を得る。

1. 高齢者が離れた場所に住む孫と触覚を用いたスキンシップ(*1)を行う。
2. ロボットを介した自宅での留守番・見回りや訪問者への対応を行う

本提案によって得られる効果

1. 家庭における負担(子育て, 家庭での防犯等)の減少による**共働き家族の働きやすさ向上**
 - ・労働力増加
 - ・少子化の緩和
2. 遠隔留守番による共働き家庭の**セキュリティ向上**
 - ・宅配受取による労働効率化の推進
 - ・室内ペットが原因の火災などの事故防止
3. 肌で感じる事が出来るスキンシップと役に立てる場所の確立により**高齢者の生きがい創出**
 - ・生きがいによって健康寿命を延ばすことによる医療費削減
 - ・ロボットの動きを見ることで高齢者の見守りケアが可能
 - ・さらに, おばあちゃんの家にもロボットを置くことで相互補助が可能になる

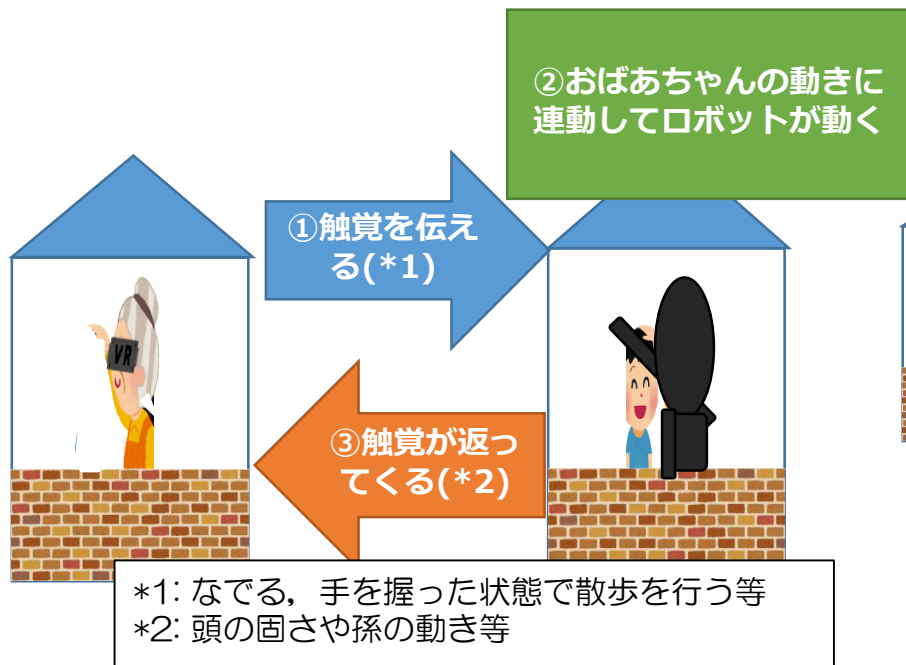


図1 本提案の概要図



図2 本提案による効果